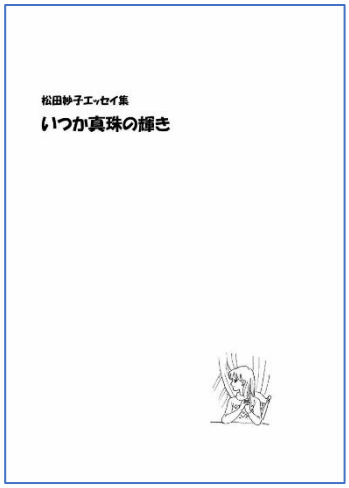
松田妙子エッセイ集 いつか真珠の輝き



＜まえがきより＞

松田妙子さんは多くの作品を残した漫画家です。残念ながら二〇二二年四月一二日、急逝しました。漫画以外にも文章を発表しています。その一部がここにまとめたエッセイです。

西本千恵子（松田妙子の姉）と飛田雄一が収集整理したものです。飛田は、松田妙子さんが『日本人的一少女』（二〇〇四年六月）を発行したとき、林伯耀さんと「松田妙子さんの漫画の自費出版を支える会」の呼びかけ人となり普及につとめました。

本エッセイ集は、松田妙子さんが、親交の深かった光円寺（兵庫県神崎郡市川町）の僧侶・後藤由美子さんからの依頼を受けて投稿したものです。二〇〇七年から二〇一五年の作品です。漏れているものもありますが、できる限り集めました。もっと完全なものを出したいのですが、四月八日、九日（二〇二三年）神戸学生青年センターで開催の「まつだたえこの世界展」にあわせて出版することにしました。後日、漏れているものを追加して増補改訂版をつくりたいと願っています。みなさんのご協力をよろしくお願いします。

文才もあった松田妙子さんのまとまった作品となります。松田妙子さんのことをよく知っていただくために冊子として発行します。手書きの訂正、追加があるのは、松田妙子さん自身によるものです。

このエッセイは、それぞれが基本的に一頁半のものです。残り半頁に別の原稿が入っていますが、関連するものもありますのでそのまま収録しています。ご了解をお願いします。　二〇二三年四月三日　西本千恵子　飛田雄一

＜　目　次　＞

●２００７年
水俣のお地蔵さん　１
いつか真珠の輝き　４
●２００８年
一月、神戸から　６
気づきの築き　８
ひな菊一個分の幸せ　１０
世の中に絶えて桜のなかりせば　１２
アスファルトに萌ゆる草　１４
心にいくたびかの雨　１６
車中お見舞い申し上げます　１８
～を見たかい？　２０
その旗の下（もと）に　２２
●２００９年
私の絵と言葉で　２４
お帰りなさい　２６
珊瑚の枝、私の根　２８
土の中のセミ　３０
僧は推（お）す月下の門　３２
八月九日雨の日に　３４
彼岸の前に　３５
老師あり　３７
闘えど闘争せず　３９
聖夜のチキン　４１
●２０１０年
新年のご挨拶　４３
バスを降りてから　４５
朝（あした）に鮮やかなりし痛み　４７
こだわってもこだわらなくても　４９
私に来たいのちは　５１
泥と真珠の６月　５３
嫌から始まる　５５
風の谷より　５７
有り難き日常　５９
●２０１１年
おばあちゃんへのおみやげ　６１
私もあなたも観音様　６２
小雪舞う三月の夜に　６４
悲災　６６
昭和のオヤジ　６８
しあわせの島　７０
永遠のミルク　７２
●２０１２年
祈りと願いは誰のため　７４
続・月の名を持つホールにて　７６
さよならオッパイ　７８
たとえ胸の傷が痛んでも　８０
永遠に満たされない飢えを抱えて　８１
●２０１３年
春を待つ日々　８３
苦しみよこんにちは　８５
●２０１４年
私の中のサファイア　８７
なぜ祈るのか　８９
●２０１５年
冬枯れの心　９１
病んだ女の残したものは　９３

２０２３年４月８日 発行／著者　松田妙子／編集　西本千恵子、飛田雄一／定価：本体８００円＋税
発行　神戸学生青年センター出版部　〒657-0051 神戸市灘区八幡町 4-9-22
TEL 078-891-3018 FAX 078-891-3019　URL　https://ksyc.jp/　e-mail　info@ksyc.jp
ISBN978-4-906460-66-3 C0036 ¥800E　※アマゾンでご購入可能です。学生センターでは８００円で販売。